
恋 愛

紀本 真利亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋 愛

【コード】

N6345H

【作者名】

紀本 真利亜

【あらすじ】

恋は難しくくて、愛は気づけない。

こい

小さな頃に憧れていた「恋」

少し大人になって「恋」をしてみると

それはとっても難しくくて

それはいつまでも憧れである事には変わりはなかった

ずっと上手くいくまで憧れていくのだろう

どこまで上手くいけば良いのかさえもわからないくせに

一人前に失恋をしたつもりで涙の流す

ただただ寂しいだけの子供の涙を流す

本当の意味も理解も出来ないまま

楽しい思い出ばかり思い出して

嫌な思い出は浅はかな記憶にして

沢山夜の経験をした事を

恥ずかしくも無くたなにあげ

大人ぶって友の恋愛相談にのる

こなした数を恋愛の経験と勘違いしていたよ

幼いその頃も憧れていた「恋」

もう少し大人になっても恋がしたくなる

それは今でも難しくくて

それは今でも憧れであることに変わりはない

あい

知らず知らずのうちに君が私に教えてくれていた

人を「愛」という事の意味

その言葉は子供の頃から知っていたけど

どんな意味なのかはわからなかった

でも今は「愛」というのがわかりました

君と過ごしたその時にも愛はあつて

ただ好きという感情と似ていて

気づけなかつただけで

それに気づけた今は少しだけ少しだけ大人になれた気がした

知らず知らずのうちに君が私に教えてくれていた

「愛」というものにも終りがくる事を

「愛」に気づけなければそれはただの「恋」

思いやりとか優しさとかそんなのでは無くて

大切だった尊い日々は毎日の筈だったのに

それに気づけなければ終りがくるんだね

今頃今頃君がいなくなつてから気づく「愛」も

知らず知らずのうちに君が私に教えてくれていた

それに気づけた今は少しだけ少しだけ大人になれた気がした

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6345h/>

恋 愛

2010年10月10日04時41分発行